

(リスクアセスメント)作業手順書 雪氷対策作業(固形剤入荷)

会社名	中日本ハイウェイメンテ名古屋㈱	施工ケース	主な設備、仕様機械	主な使用工具、器具	安全設備、保護具	使用材料
作成日	平成30年11月14日		天井クレーン		ヘルメット、革手袋、安全靴	
改訂日	令和2年12月11日					
作成者	鈴木 裕太					
必要資格等	職長教育講習、玉掛け特別教育(1t未満)、床上操作式クレーン運転				作業人員	3名 その他
					作業人員	

可能性	1:ほとんど起きない (5年に1回程度)	2:たまに起きる (1年に1回程度)	3:かなり起きる (6ヶ月に1回程度)
	頻度率:1	頻度率:2	頻度率:3

重大性	軽微 (不休災害)	重大 (休業災害)	極めて重大 (死亡・障害)
	危険度:1	危険度:2	危険度:3

評価	対策変更の 必要なし	対策が必要	即座に対策 が必要
	1~2	3~4	5~9

作業工程	施工ケース	No	単位作業とその主な手順	危険有害要因(予測される災害・事故) (品質、トラブルも含む)	評価 可能性 重大性	評価 可能性 重大性	危険有害要因低減対策	誰が 点検・確認	対策後		参考図(別紙も可)
									可能性	重大性	
準備作業			・作業前ミーティング								元請施工計画書、施工図、略図、写真等を添付し、作業環境に即した物とすること。
共通	1	新規入場者のチェックをする。	現場、施工方法等について十分な知識を有していない。	2	2	新規入場教育の受講	職長	1	2	2	
共通	2	健康状態を確認する。	風邪、飲酒等により正常判断ができない。	2	1	体調の確認、アルコールチェックを行う。	職長	1	1	1	
共通	3	服装の点検をする。	足を滑らせ転倒する。	2	2	ヘルメット着用	全員	1	2	2	
共通	4	機械の点検をする。	車両の不具合。	2	1	事前点検を確実に実施する。	全員	1	1	1	
共通	5	朝礼、KYミーティングを行う。	漠然と現場に入り事故を起こす。	2	1	KYミーティングにて危険箇所を確認する。	全員	2	1	2	
共通	6	作業手順の確認をする。	各自の作業が分かっていなくて、現場で不安全行動を起こす。	3	1	個人の作業内容、作業手順を確認する。	全員	2	1	2	
				3	1	緊急時の合図、連絡方法を確認しておくこと。	全員	2	1	2	
共通	7	車両点検、荷姿、プレートチェックをする。	積荷等が落下する。	2	2	車両点検、荷姿チェックを自主とメンテ職員にて行う。	全員	1	2	2	
			業務用プレートの不正使用。	2	1	プレートチェックを自主とメンテ職員にて行う。	職長	1	1	1	
移動			・現場への移動								
共通	1	交通ルールを守り運転する。	人身、物損事故。携帯電話使用。シートベルト。	2	3	nexcoの一員であることを自覚して運転する。 乗車時は靴の裏の汚れや水分を十分落とす	運転手	1	2	2	
共通	2	高速道路に入る前には、プレートを確認しておく。	プレート区域外使用。	2	1	車両点検時、荷姿チェック時に確認しておく。 (自主、メンテ職員)	全員	1	1	1	
共通	3	車両は、ハンドル切、サイドブレーキ、 輪止めを必ずする。	車両が動いて、他のものに接触する。	1	2	運転席には、ハンドル切、サイドブレーキ、輪止め 啓発のプレートを掲げる。(必ず行う)	運転手 全員	1	2	2	
本作業			・固形剤入荷作業								
	1	大型トラック車庫入れ	トラック後退時に倉庫内側壁に接触	1	2	天井クレーンでの吊上げ可能な位置まで誘導する 入荷数量と、納品書数量を照合する	作業員 作業員	1	1	1	
	2	1tバックをトラックより吊上げて倉庫内に積み上げる	剤吊り上げ時、負傷する。	2	3	フックの確認・運転者は作業員が3m以上離れてからクレーン操作を行う クレーン操作は、有資格者で行う	全員 作業員	1	2	2	
			吊上げた塩のロープが切れて落下する。	2	3	吊上げた塩の下には立ち入らない。	全員	1	2	2	
			吊上げた塩と、倉庫の側壁に挟まれる。	2	3	塩の移動は、天井クレーンの軌道範囲で行う事とし無理に人力で移動はしない。	全員	1	2	2	
			循環槽に落下する。	1	2	縁から身を乗り出さない。	全員	1	2	2	
	3	入荷完了	入荷数量を未計上			入荷後、数量管理表に記入する	作業員				